

## ON AIR

NO. 88

放送大学通信 オン・エア

発行月 平成19年12月

発行 放送大学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地  
043-276-5111(代)

## CONTENTS

特集:世界のOPEN UNIV.訪問記I	1
エッセー「月に行く」	3
コラム「放送大学の歴史」	4
平成20年度開設改訂科目紹介	6
Webを使った卒論・修論ゼミ	10
平成20年度単位認定試験時間割	11
放送大学エキスパートのご案内	16
学び続ける学生・卒業生	18
研究室だより・学習センターだより・同窓会だより	19
学園ニュース・大学の窓からのご案内	23
インフォメーション	24

## 特集 世界のOPEN UNIV.訪問記I

## 上海電視大学

～21世紀の公開教育へのまなざし～

「人間の探究」専攻 准教授 大石 和欣



上海の旧居留区にあるホテルに泊まって窓の下を眺めると、おびただしい人や車の群れが往来しているのが見える。租界時代の中心地は今でも活気に満ちている。しかし、目を上げて前を見ると、川の向こう側に新世紀の上海を象徴するテレビ塔が空高くそびえ、こちら側を睥睨しているように見える。古い過去を包摂しながら、未来に向かって猛烈な勢いでまい進しているのが今の上海の姿である。

その推進力の一つが上海電視大学である。中国全土の公開・遠隔教育をつかさどる中央電視大学の傘下にある機関である。この大学だけで現在9万人の学生数を誇り、その数は急増していく傾向にある。多くの学生が、大学卒業の資格を得るため、あるいは仕事のキャリア・アップのために、日々勉学に励んでいる。昼は働き、食事や寝る間も惜しんで夜間

に学ぶ30歳前後の勤労学生が大半を占めるといふ。ここには他の中国の電視大学

と同様に、卒業を目指す「学歴教育」と、職業・技能取得を目指す「継続教育」の2コースがある。前者には「専科」（76単位：3年間）と「本科」（71単位：3年間、ただし一部を除く）が設けられ、専科を卒業した学生が本科へ進むことができる。専門分野としては、経済学、外国語、芸術、経営、法律、科学などがある。一方、継続教育には、高級工商管理（MBA）、保険代理人考試、公務員訓練、交通安全教育学校など、13のプログラムが存在し、実務教育が行われている。アジアの公開大学のなかで、「2つの巨人」と評される中国とインドの活気は群を抜いているが、それは学生数の増加だけでなく、こうした実務的な教育プログラムの充実からも伝わってくる。

上海電視大学の特徴は、多様な学生のニーズに対する柔軟かつ多様な教育の提供という現在の公開・遠隔教育の潮流にそった方針を打ち出している点だ。地域にある60もの分校においてスクーリングも提供されているが、ユニークなのは放送授業が2種類あ





ることだ。放送大学と同じく録画放送形式の講義番組もあるが、同時に生放送形式で授業



を放送してもいる。本部には、通常の授業収録を行う小スタジオと共に、地域の分校へ授業を衛星で同時中継する大規模スタジオが併置されている。画一的になりがちな録画授業だけではなく、臨場感あふれる生放送の授業を分校で受けることで、希薄になりがちな学生と教員とのコミュニケーションを図ろうとしているのだ。学生たちは、そうした授業を後からインターネットでも視聴することができ、大学本部にはそのためのデジタル編集室、ウェブサイト運営局が完備されている。まさにいたれり尽くせりである。中国語でいう電視とはテレビのことであるが、それが電腦、つまりコンピューターと観念的にもまた教育手段としても可換的な関係を保っているのは注目に値する。

さらに特筆すべきなのは、地元のメディアと合同で教育ニュースを流していることだ。わたしたちの放送大学にも「大学の窓」という誇るべき番組があるが、上海電視大學は地元のテレビ局と提携して時事的なニュースを毎日発信してしまふところがすごい。そうしたテレビ局との連携、さらには遠隔で行う中・高等学校とも連携しあって、上海遠程教育集团と呼ばれるグループが形成されている。やはり世界の遠隔・公開教育において主流になりつつある連携・協力がここでは展開されているのである。

その目指すところは、多数の学生の多様なニーズへの対応である。大学と学生の双方にとってもっとも重要な問題は、スクーリングから放送授業、カセ

ットからインターネットまで、多種多様なメディアのどういう組み合わせが個々の学生の職場・生活環境に最適かつもっとも効果的かということである。うらやましいと思ったのは、常時パソコンによる試験を行う部屋として「単位認定試験専用室」が設置されている点だ。仕事の都合で特定の日に試験を受けられない履修者を配慮してのことであろう。また、ウェブサイト運営では、学生にオン・デマンドで授業を提供するだけではなく、学生が教員に直接相談できるシステムが備わっている。柔軟な学習相談制度が遠隔教育においては根幹をなす要素であることを考えれば当然かもしれない。2004年に上海電視大學が主催したアジア公開教育大学連合の年次会議では、「全ての人に質の高い教育を」というテーマで、多様化する教育メディアを用いて、どのように教育の質と学生の満足度を確保するかについて議論が交わされたが、それはこの大学にとっての切実な課題だからであろう。

アジアの公開・遠隔教育はメディアが多様化する中で大きな分岐点を迎えている。中国とインドの活気と台頭に対して古参の韓国や「教育のビッグバン」の犠牲になった香港の公開大学の苦しみ、郵便やラジオ・テレビといった旧来のメディアに対して「eラーニング」、果てには携帯電話等を用いた「m（モバイル）ラーニング」の広まり。このことは、公開教育（Open Education）の‘open’の意味が、「全ての人に対する無試験入学、平等教育」という当初の意味から、学生が個々の興味・関心に合わせて「柔軟な教育カリキュラムを多様なメディアを通して自由に享受する」という意味に変容していることを示している。上海電視大學は、柔軟かつ高質の教育を提供することで、この分岐点を乗り切ろうとしている。その視線は上海テレビ塔とともに21世紀の先をみつめているような気がする。

面接授業風景



# 月に行く

「自然の理解」専攻 教授  
海部 宣男



海部 宣男 教授

日本の月探査ロケット「かぐや」が無事月を回る軌道に入ったと報道された。この号が出るころには、そろそろ目的とする月の科学観測の準備も整っているだろう。JAXA（日本宇宙航空研究開発機構）と国立天文台や大学などの研究者が10年間の協力で準備してきた本格的な科学的月探査で、14の観測装置を駆使する。いま数ある月探査計画の中でも断然本格的な科学ミッションで、その成果に大いに期待したい。

考えてみると、アポロ11号が月に最初の人の足跡を残したのは1969年。もう40年近くも前になる。アポロ以後は月に行った人はなかったが、21世紀のいま、改めて月に探査の波が押し寄せようとしている。アポロ計画は冷戦が生んだ過激な競争の結果で、ある意味「早すぎた月世界旅行」だった。それでも、人類史上に残る壮大な探検だったことは確かである。

その昔、月に行くことはとても簡単だった。月には蛙だのウサギだの蟹だのが住んでいた。中国の神話では、西王母の侍女嫦娥（じょうが）が、不老不死の霊薬を盗んで月に逃げる。それで嫦娥に仕えるウサギが臼で薬を搗くようになったし、探査機の名前になったかぐや姫も、嫦娥の流れを汲むようだ。月には高い桂の木があって、仙人もいる。フランスの昔話では、薪を盗んだお百姓はあつという間に月にとばされてしまう。宇宙と人の世界とは、ごく近かったのである。

人々の天体観を大きく変えたのは1609年12月、ガリレオ・ガリレイの望遠鏡による天体観測だろう。彼は翌年2月にかけて月の山や谷、金星の満ち欠け、天の川が星の集まりであること、木星の衛星などたて続けに大発見を遂げるのだが、その一番手は月だった。ガリレオが早くも3月に出版した『星界の

ガリレオの月のスケッチ  
『星界の報告』岩波文庫より

報告』には、見事な月のスケッチが載っている。398年前の寒い冬空、不便な架台と小さな望遠鏡でスケッチをとるガリレオの興奮は、想像に余りある。

望遠鏡は、またたく間にヨーロッパに広がった。月が水晶の球ではなく、山や谷がある地球と同じような世界だということも。天文学者ケプラーは「夢」（1934年）で、月には月人がいてクレーターは太陽熱を避けるため彼らが掘ったのだという、まじめな空想を書いている。1600年代半ば、才人シラノ・ド・ベルジュラックは、月と太陽に旅行する『月の諸国諸帝国』『太陽の諸国諸帝国』を書いた。旅行手段は日光で蒸発する露の上昇を使うといったロマンチックなもので、これは文明批判の書である。さらに100年の後、砲弾に乗って打ち上げられ、月を回って帰ってくるというジュール・ヴェルヌの『月世界へ行く』（1865年）は、いよいよSF（サイエンス・フィクション）の領域に入ってゆく。

だが、実際の月旅行は難しい。砲弾のように一気に打ち上げたら、どんな動物も加速度でアウトである。推進薬の連続燃焼で徐々に速度を上げるロケット

の発明までは、宇宙に行くのは無理だった。

人間と宇宙の距離は、とても大きい。そのことは科学が発達してはじめて理解されたのだが、科学はまた、宇宙への距離を着実に縮めてきた。

「かぐや」は、人間が再び月へ行くための確実な一歩である。今度月に人間が行くときは国家威信のためではなく、国際的に、そして科学と進歩のために行きたいものだ。

その先には、いずれ火星が待っている。



ガリレオの望遠鏡（フィレンツェ科学史博物館蔵）

# 足かけ3年、133時間

～放送大学誕生・根拠法律の成立～

東北大学 理事 前放送大学事務局長 折原 守

皆様方は、放送大学が「放送大学学園法」という固有の法律に基づき設置されていることをご存知でしたか。今から四半世紀前に、関係者の大変なご苦勞のもと、各方面のご理解やご支援を得て法律が成立し、そして放送大学が誕生したのです。

国会でのその成立がいかに大変だったことか、放送法との関係や大学の仕組みなど内容はともかくとして、例えばその審議時間です。実に、足かけ3年、133時間を要しました。学園法はそれまでの文教関係法案では最長の審議時間（ちなみに現在の最長は昨年12月成立の新しい教育基本法・190時間）であり、当時、その成立と実現は文教関係者の最後のロマンとまで言われました。

で、ロマンには悲劇がつきものです。

法案が成立する最後の山場3ヶ月、私は、まさしくこの法案担当課の係員でした。最初の頃は、国会質問に対する答弁を見て勉強しようと、コピーしたり綴じたりその他あらゆる雑用をヨロヨロとこなしながら、けなげにもそのように思ったのですが、それが日々3桁の質問数となり、連日朝方までの作業となって、それも数ヶ月に及ぶのです。勉強どころではありません。ただひたすら眠くて、いつ風呂に入ろうかと悩む日々でした。

本当のところ、私の苦勞は苦勞のうちにも入らないようなものでしたが、間違いなく実務的に一番大変だったのは、それら膨大な答弁資料の作成にあたられた担当の文部省高等教育局企画官（井上孝美企画官、現放送大学教育振興会理事長）でした。獅子奮迅だと思ったものです（ご本人が獅子というわけではありません、念のため）。

そのような中で、新米係員でも大事な役割を担うことがあります。何だと思いませんか。できたてはや

ほやのその膨大な資料を、国会で答弁する担当局長の宿舎に届ける役目です。これが実は大変なのです。朝の5時過ぎに、宿舎のドアの郵便受けに入れなければなりません。厚さが25センチにはなろうかという封筒です。なくならないようにきちんと入れなければなりませんし、そのままでは入りっこありません。必死の形相です。新聞配達に來た人に不審のまなざしで見られても当然です。

でもおかげさまで、放送大学学園法は昭和56年6月、無事成立しました。



折原 守 東北大学 理事



鈴木善幸内閣時の通常国会

勿論、成立までには、最後の3ヶ月だけではなくそれまでの数年間、そして法案提出までの10年にもわたる長い構想期間や検討期間があり、そこではいろいろな方々のいろいろな場面でのいろいろなご苦勞やご尽力があったことを聞いています。いうまでもなく、大学のことのみならず、種々の事情で別に設立となった放送教育開発センター（現メディア教育開発センター）や放送大学教育振興会の関係のことも含めてです。



放送大学設立に関する各種報告書

そして昭和58年4月放送大学が誕生しました。

現在では、平成10年の全国化や13年の大学院設置を経て、年間9万人の学生が学び、学生以外でも多くの方々が授業番組を視聴する、まさしく日本最大級の規模の、オンリーワンの大学といわれるまでに発展しました。その間、私自身も、このときを最初として、全国化の際の放送部企画管理課長、そして事務局長と、放送大学学園に3度もかかわることができました（悲劇はつきものですが、幸せです）。

本稿を終えるにあたり、放送大学に深くかかわってこられた大先輩の文章を引用することをご容赦ください。放送大学事務局職員の皆様には、今後でもできる限りこのような気持ちで大学の発展を考え、学生の方々に向き合っていたいだきたいと思っております。

～天城勲氏（元文部事務次官）『思い出』（放送教育開発センター「10年の歩み」）より抜粋～

「そもそも放送大学が従来の大学と異なる本質は公開性、遠隔性、多媒体性の3点にあると私は考えている。1つは、学習意欲のある人なら誰でも入学出来る。粒をそろえるための入試もない。学生は年齢も多層化し社会人、主婦など成人がとくに多い。

2つは、学習のための時間と距離の制約を解き放しそれこそ何処でも何時でも学習出来る。3つは、放送、印刷教材、通信指導、面接指導など多様な媒体と方法を通じて学習する。この公開、遠隔、多媒体を本質とする大学教育はわが国では放送大学が始めてである。別の見方をすれば、学生が大学に来るのではなく大学が学生のところに出向くのである。まさに学生のための大学であり、俗な言い方をすれば大学教育の出前である。」

## 沿革（審議会諮問～授業開始まで）

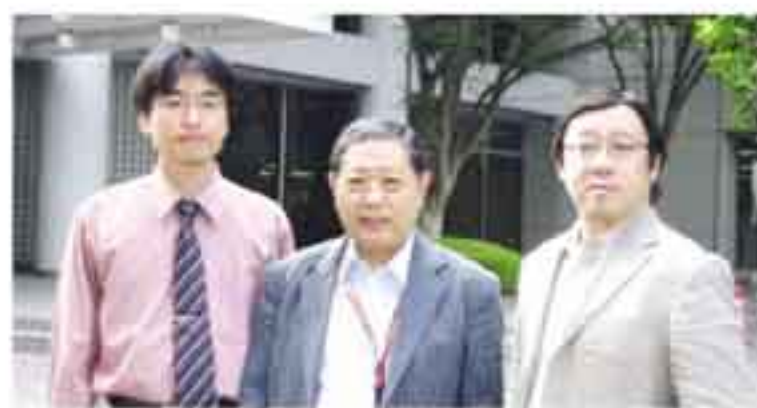
昭和42年(1967)	11月文部省社会教育審議会（会長・柴沼直）に対し「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」諮問
昭和44年(1969)	3月文部省社会教育審議会「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」答申 11月文部省放送大学問題懇談会（会長・石坂泰三）が文部・郵政両大臣に意見
昭和45年(1970)	7月文部省放送大学準備調査会（会長・松方三郎）「放送大学の設立について」報告書提出
昭和49年(1974)	3月文部省放送大学（仮称）設置に関する調査研究会議「放送大学（仮称）の基本構想」提出
昭和50年(1975)	12月文部省放送大学創設準備に関する調査研究会議（会長・大泉孝）「放送大学の基本計画に関する報告」提出
昭和53年(1978)	10月国立大学共同利用機関として「放送教育開発センター（現メディア教育開発センター）」設立
昭和56年(1981)	6月放送大学学園法公布・施行 7月放送大学学園設立
昭和58年(1983)	1月放送大学設置認可 4月放送大学設置
昭和59年(1984)	10月東京放送局免許 11月東京放送局予告放送開始 12月前橋放送局免許
昭和60年(1985)	4月学習センター（群馬・埼玉・千葉・東京第一・東京第二・神奈川）学生受入れ開始・放送による授業開始 7月放送大学通信（ON AIR）創刊 12月放送大学教育振興会が設立

## 開学記念切手



## 市民と社会を知るために一名著に触れよう('08)

「社会と経済」専攻 教授 林 敏彦 「社会と経済」専攻 准教授 山岡 龍一 「社会と経済」専攻 准教授 原島 良成



原島 良成 准教授 林 敏彦 教授 山岡 龍一 准教授

社会と経済専攻が提供する基礎科目「市民と社会を知るために（08）」は、放送大学で勉強する全ての人に社会科学の考え方を紹介する目的で作られています。昨年度開設の「市民と社会を考えるために（07）」、来年度に予定されている「市民と社会を生きるために（09）」と合わせて、専攻のメンバーが総掛かりでお送りする3部作の第2弾となっています。

社会科学が研究の対象としているのは、私たちが暮らしている現代社会そのものです。人間は一人で生きているわけではありません。さまざまな人々や組織や約束事の中で、それぞれの役割を担いながら生きています。他者と関わる領域を簡単に「公共領域」と呼ぶならば、公共領域に生活する個人のことを「市民」と呼ぶことができます。

その「市民と社会」について知るためには、知るための努力を続けてきた先達が残した「名著」との対話が最も有効です。この科目は、前半でそれぞれの講師が得意の分野で選んだ名著について解説します。取り上げる名著は、古典から現代作品やマンガまでいろいろです。後半では、講師が法学、政治学、社会学、経済学分野で出会ったあんな本やこんな本について熱く語ります。

この科目は受講生の皆さんに親しみやすい解説を意図して制作を始めました。しかし最終的にできあがったものは「すごい」科目でした。どう、すごいか。是非皆さんの耳で確かめてください。一度聞き始めたらその面白さに引き込まれること必定です。

## 歴史と人間('08)

「人間の探究」専攻 教授 草光 俊雄 「人間の探究」専攻 教授 五味 文彦 「人間の探究」専攻 准教授 杉森 哲也



草光 俊雄 教授 五味 文彦 教授 杉森 哲也 准教授

歴史の勉強とは、われわれ一人一人の人間がこの世の中に対して何をしてきたのか、ということ学ぶことだと言えます。つまり人間の活動を調べそれがどのような結果を生み出したのかを考えることです。そのためにはさまざまな記録を読み、資料を集めたり、それらを照合したりと、歴史家の仕事は時に煩雑であり、時には無為に終わることもあります。特に、歴史に名を残した人々の資料は多いのですが、普通の人たちの記録は非常に少ないのです。歴史の本や教科書を読むと、大きな事件を引き起こしたり、解決した人たち、また多くの人々に強烈な印象を与えたり影響を与えた歴史上の人物がいます。そういう人たちの資料が多いからです。えてして歴史学はそうした人々に注目しがちですし、この授業で見ていく人々もおそらく皆さんにはなじみの人物が多い

でしょう。しかしこの授業の主要な目的は歴史上の有名人を採りあげて紹介することではありません。有名人を論じていても、あくまでもそれは人間と歴史との関わりを探るひとつの例として、資料や方法を考える手段として採りあげているのです。そして彼らが生きた社会や時代を考えてみたいのです。日本、アジア、西洋の歴史の第一人者がそれぞれ自分の得意とする時代と人物を考える科目、きっと新しい歴史に対する見方が身につくと思います。そしてその中で皆さんが歴史を学ぶ基礎的な知識や方法を習得してほしいと願っています。歴史大好きな人たちの履修を心待ちにしています。

## 初歩からの物理学('08)～物理へようこそ～

「自然の理解」専攻 教授  
生井澤 寛

北海道大学大学院 准教授  
(放送大学 客員准教授)  
鈴木 久男

生：世の中は物理であふれているんです。この科目では身の回りにある物を使って簡単にできる実験で物理を紹介しています。ぜひ皆さんも実際にやってください。私の担当する回では聞き手の宮田さんと一緒にQ & Aの形で授業を進めています。

宮：毎回楽しく収録しています。体験して見ていると新しい驚きと発見があります。

生：この科目は皆さんと一緒に物理を楽しもうと「物理へようこそ」という副題をつけたんです。

宮：物理が苦手だったんですが、この授業はそんな私でもとても楽しく解り易いです。

生：本当は物理は難しくはないんですね。どんな難しいことや疑問も自分の手を動かしたり、他の人と疑問をぶつけ合って話しているうちに色々解ってくるんです。皆さんも物理を体験して楽しんでみませんか。物理を知らないと損しますよ。

(生井澤寛、聞き手宮田英里アナウンサー)



生井澤 寛 教授 宮田 英里 アナ

皆さんの中には、ご自身の世界観の確立のためにも、物理を勉強してみたいと思われている方も多いでしょう。そんなあなたのためのコースです。物理科学の世界へと誘います。きっと世界観が変わりますよ。



鈴木 久男 准教授(自作)

私の担当では、物理の中でも特に「目に見えないから解らない」と思われやすい部分です。そこで、コンピュータグラフィックスによる説明と共に、クイズ形式により授業を進めていきます。ハーバード大学やMITなど海外の大学で発達した教授法を取り入れています。クイズ番組に参加しているつもりで授業に参加してくださいね。(鈴木久男)

## 文学の愉しみ('08)

東京大学 教授  
(放送大学 客員教授)  
柴田 元幸

東京大学 教授  
(放送大学 客員教授)  
沼野 充義

東京大学 准教授  
(放送大学 客員准教授)  
野崎 歓

かつて文学は、特に外国の文学は、何か「仰ぎ見る」ものでした。それを読んで、人は人生の意味について考え、自分はいかに生きるべきかを考えました。

もちろん、そうした読み方が間違っているわけではまったくありません。文学が人生全般について、あるいは自分の人生について、何らかの指針を示してくれるということは大いにあるでしょう。けれど、それと同時に、文学とは物語であり、物語とはまず愉しむものでもあったはずです。洞窟のなかで、焚き火を囲みながら、人々は仲間が語る物語を夢中になって聞いていたことでしょう。と同時に、その物語が、彼らが抱えている恐怖や不安を間接的に克服するすべにもなったということも大いにありえますが、そうした「効用」とともに、「愉しむ」という



要素がはじめにあったことは疑いありません。

私たちはもう洞窟に住んではいませんが、物語を愉しむ能力、愉しみたいという欲求はそんなに変わっていないと思います。2008年から開講する「文学の愉しみ(08)」は、かねてから現代文学の紹介に努めてきた3人の主任講師が、世界ではいまこんなにいろんな物語が語られているんだということを知っていただくために、フランス、ロシア東欧、アメリカの文学を中心にお話しし、加えて、推理小説やファンタジーの専門家をお招きして特別に講義をしていただいたり、現代日本の作家のみなさんにもご登場いただいたりする授業です。これだけ贅沢な授業は、どこの大学を探してもそうざらにはないんじゃないか、そう講師陣は自負しています。

## 社会と知的財産('08)

東京大学 客員教授  
(放送大学 客員教授)

妹尾 堅一郎

東京理科大学 教授  
(放送大学 客員教授)

生越 由美



妹尾 堅一郎 教授



生越 由美 教授

最近、知的財産（知財）という言葉が、マスコミを始めいろいろなところで数多く語られるようになったことにお気づきの方も少なくないでしょう。でも、知財って何でしょう。なぜ最近語られてきているのでしょうか。

実は、先進諸国、特にアメリカでは、1980年代から知財が注目を集め、発明にせよ、キャラクターにせよ、人間の知恵によって生まれたものを「知的財産」として重要視し、それを活かして企業の競争力の源泉とすること、あるいはその営みを通じて知財を社会生活に活かすことが進められてきたのです。日本でも2002年に、当時の小泉首相が所信演説において、「知財立国」を目指す決意を表明し、それ以降、急速に知財が注目を集めるようになったのです。

本科目では、前半において、豊富な事例を通じて多様な知財の事例や、知財制度の基本を学びます。後半では、社会や産業の視点から知財の意味や、事業戦略や技術経営における知財マネジメントの基本について学びます。

本科目を通じて、生活や仕事における知財に関する基礎知識を修得していただく共に、マスコミの知財報道等についてその意味を把握できるようになっていただきたいと思います。（本科目は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権などの「産業財産権」を中心とします。著作権等については別科目をご参照ください）。

## バイオサイエンスで豊かな暮らし('08)

北海道学習センター 所長

富田 房男

愛知学習センター 所長

塚越 規弘



富田 房男 所長

塚越 規弘 所長

有史以前より人類はいわゆる“バイオサイエンス”を利用して生活を豊かにしてきている。20世紀後半その本質が解明され意図的に利用されだし、21世紀はバイオサイエンスの時代と言われるようになった。これからもますます期待される分野がバイオサイエンスである。しかしながら現在、我々人類はその発祥のときから自然にとけこみ、自然の恵みに依存して生きてきていることを忘れていたところも多くあるように思える。特に、通常肉眼で見ることのできない微生物は、感染症以外ではほとんど注目を集めていない。本講義では、バイオサイエンスの主演を演じてきた微生物の優れた潜在能力の開発・利用について暮らしの観点から、最近何かと話題になることが多い組換え

DNAを含む学問の進歩、微生物の利用の歴史と現状と未来を紹介する。富田房男は、その応用を主体に、塚越規弘は、基礎を主体に、微生物に主たる焦点をあてて講義を組立てた。我々が微生物にどのような恩恵にあずかっているかの現状を具体的な事例で紹介するとともに、バイオサイエンスの大いなる可能性を述べ、21世紀のバイオサイエンスを展望した。また、組換えDNA技術の基礎を拓いたノーベル賞受賞者のアーバー博士と応用微生物及びバイオテクノロジーの権威であるドメイン博士との対談及びコメントを含めて、広い視点から今後を展望した。



## 社会的自我論('08)

政策経営プログラム 教授

船津 衛

この「社会的自我論(08)」は学部向けの講義である「自我の社会学(05)」の上級編に当たりますが、それに比べて難しくなるというよりも、内容的に少し異なったものになります。つまり、この科目は具体的な現象の分析よりも、やや抽象度の高い理論的な研究を行うことになります。そのために、自我に関するこれまでの学説や研究動向を探ることを行い、そこから現代人の自我の在り方を解明する分析枠組みを作り上げていくことが主なねらいになります。

「社会的自我論」は人間の自我が他の人間とのかかわりにおいて、社会的に形成され、また展開する「自我の社会性」を明らかにすることが中心的な課題となります。

「自分のことは自分が一番よく知っている」。普通、そう思われがちです。けれども、それは主観的な思



船津 衛 教授

いこみであったり、独りよがりな判断であったりすることが多いのです。

自分を本当に知るには他の人に聞かなければなりません。他の人に聞いてみて初めて自分がどのようなになっているのかを知ることができます。他の人の認識や評価、また感情を知ることを通じて、自分をすることができます。これが「自我の社会性」です。

でも、このような考え方はこれまでのものとはかなり異なっております。むしろ、それとは全く逆のことを考えていることにもなります。それは一体どういうことなのでしょう。この「社会的自我論」はこのことについてじっくりと、また多様な角度から考えていきたいと思えます。皆さんの熱心な受講を心からお持ちいたします。

## 教育経営論('08)

東京大学大学院 教授  
(放送大学 客員教授)

小川 正人

東京大学大学院 准教授  
(放送大学 客員准教授)

勝野 正章

昨年度まで同名科目が開講されていましたが、今年度から担当講師と内容を一新してスタートする大学院の科目です。

教育経営というと、教育委員会や学校の現場で教育目標の効率的な達成のためにいかに学校を運営していくのかとか、学校への支援・援助をどう行っていくのか等といったミクロで経営技術的な課題を扱う実践指向の講義を想像される方も多いと思います。当然そうした課題は、重要でありこの科目のなかでも学んでいく予定ですが、今期の科目では、そうした学校の現場で生じている問題や課題をもう少しマクロな視点でも考えてみようと思います。と言いますのも、今日の学校の経営や教職員の教育活動、働き方をめぐる大きな変化とそれらから生じる課題は、社会経済の変動を背景にした国や自治体における教育政策や教育制度の大きな改革と深く連動して



小川 正人 教授



勝野 正章 准教授

いるからです。また、昨今の教育改革のスピードが速いこともあってその全体像を正確に把握することがなかなか難しくなっていることもあります。そういう意味では、学校教職員だけでなく教育に関心をもつ多くの方々にも聴講していただければという思いもあります。

放送番組では、印刷教材の内容を補いながら様々な観点から考えていただくために、できるだけ文部科学省や教育委員会、学校の第一線で仕事に携わっている関係者からの取材等も多く取り入れるよう努めました。印刷教材と放送番組を一緒に活用していただければと願っております。

\*小川先生は平成20年4月放送大学教授に就任予定



杉浦 克己 准教授

## 遠隔の友と学ぶ国語学(杉浦)ゼミ

私の研究室では、母語としての日本語研究とそれに関わる周辺の様々なことがらを取り扱っています。普段ほとんど意識することなく日常に用いている母語としての日本語を、敢えて意識して分析・研究してみよう、というのが共通の出発点ですが、『万葉集』や『源氏物語』のような古典作品の文法的な分析、様々な時代の様々な文字や表記、語と語の意味や使い方、方言・敬語など生きて使われている日本語の実態、さらには国語教育やICTと言葉など、実に様々な視点と問題意識を持った学生の皆さんが集まっています。

学部の卒業研究、大学院の修士論文研究1年生、同2年生、卒業・修了後も引き続き研究したいというOB・OGの皆さんの勉強会、の4つが主な柱で、各々毎月1回程度は集まりを持っていますので、ほぼ毎週末、何らかの形でゼミが行われていることとなります。毎年力作の卒論・修論が提出され着実に皆さん成果を挙げていますが、OB・OGの勉強会も、成果を論文にまとめ『日本語論輯』という名の論文集として不定期に刊行しています(現在第4集編集中)。

平成10年の全国化以来、遠隔地の学生さんの研究をどのように支えていくかが大きな課題でした。TV電話や電子メールなどの手段を当初から活用しましたが、平成14年から修士全科生の方の指導が加わると、より一層、有効な手段が必要になってきま

した。そこでインターネットを用いた遠隔会議システムを試験的に取り入れ、様々な実用上の問題を検証・克服してきました。これを活かして、平成18年度からは、本ゼミのみならず全学でこの遠隔会議システムを使えるように整備されました。

画面上で全国に散らばる学生さんが集い、各自の成果を発表し合ってお互いの進捗を確かめ合える機会は、勉強を進めていく上でもとても貴重かつ有効なものだと思います。教員としての指導も、質問にその場で答え、アドバイスに対する反応を常に確かめながら進めることができるという大きな利点があります。他の学生の方からの意見が新たな一歩の大きな契機になることもあります。ゼミ指導の合間の休み時間には、何百キロも離れて四方山の雑談が花盛りになっています。卒業・修了の式場では、初めて直接顔を合わせても、互いに旧知の友のように親しく懐かしく語り合うことができます。

普段の勉強は、独りテレビやラジオに向かって黙々と努力を重ねる日々の連続ですが、それは決して孤独なのではありません。全国に、同じような努力を積み重ねてきている友がいる、遠隔会議システム上のゼミで、皆さんそのことを実感してくださっています。



画面上に集った遠隔地の学生さんたち

遠隔地からの発表を聞く(東京多摩SC)



# 平成20年度第1学期 学部単位認定試験時間割 (予定)

時限	曜日	平成20年 7月27日(日)	7月28日(月)	平成20年 7月29日(火)	平成20年 7月30日(水)	平成20年 7月31日(木)	8月1日(金)	平成20年 8月2日(土)	平成20年 8月3日(日)
1		確率・統計の基礎(05) 統計学とその応用(05) 動物の行動と生態(04) 分析によって知る世界(07) ◎公衆衛生(05) 企業戦略と企業文化(08) 企業ファイナンス入門(04)		日本国憲法(05) 日本の古代(05) 転換期の教師(07) こころから(07) 世界の名作を読む(07) 人文地理学(08) 人文地理学(04) 中世日本の物語と絵画(04)	看護学概説(05) イノベーション経営(05) 数学とコンピュータ(06) 高齢期を支える社会福祉システム(07) 熱と温度(08) 物質の科学・反応と物性(04)	刑法(05) 芸術・文化・社会(06) 人類の歴史・地球の現在(07) 教育社会学(07) 現代日本の政治(07) 心理学研究法(08) 日本の思想(08) 心理学研究法(03) 上代の日本文学(04)		道徳教育論(05) 西洋音楽の諸問題(05) 国文学入門(08) 認知科学の展開(08) 心の科学(04) 国文学入門(04) 学習科学(04)	ベンチャー企業論(05) 数学再入門(07) 自然と社会を貫く数学(07) 情報科学の基礎(07) 感染症と生体防御(08) 感染症と生体防御(04)
2		服飾と心理(05) 企業統治と企業倫理(07) 社会福祉入門(08) 市民生活における社会保険(08) 社会福祉入門(04) 社会保険と市民生活(04)		アーツ・マネジメント(06) 人格心理学(04) 日本語の歴史(05) 考古学と歴史(04) 歴史と人間(08) 現象学の基礎(04) ◎哲学入門(04)	食と健康(06) 身体福祉論(07) 生活とリスク(07) 数理ファイナンス(08) 現代物理(08) 線型代数(04) 物性物理学入門(04)	日本語学概説(06) 発達障害児の心と行動(06) 近代の日本文学(05) 精神分析入門(07) 感情の心理学(07) 日本経済史(08) 記憶の心理学(08) 日本経済史(03) 金融論(04) ユング心理学(03)		現代経済学(05) ギリシャ哲学(03) 現代の国際政治(08) 哲学への誘い(08) 心の健康と病理(04) 国際政治(04) 韓国朝鮮の歴史と社会(04)	生物界の変遷(06) エネルギー学の基礎(07) かしくなる患者学(07) 家族のストレスとサポート(08) コンピュータのしくみ(08) 数学基礎論(08) 家族のストレスとサポート(04) 光電子技術とIT社会(04) 数学基礎論(03)
3		アジアの社会福祉(06) アグリビジネスと農業・農村(06) 物質・材料工学と社会(05) 植物の生理(04) ◎心理学入門(06) 解析入門(08) 幾何入門(04)		心理学入門(06) 障害者福祉論(05) 西洋政治思想史(05) 近代日本と国際社会(04) 大学と社会(08) 岐路に立つ大学(04)	初歩からの微積分(06) 発達障害の教育支援法(06) 運動と力(05) 分子生物学(05) 現代科学と医療(04)	倫理思想の源流(05) 発達障害の教育支援法(06) 行政法と市民(06) 国際経済学(05) 近代ヨーロッパ史(05) 社会心理学の基礎と応用(08) 現代の社会心理学(04) 比較教育制度論(03)		授業研究と談話分析(06) 基礎教育学(07) 企業の組織・取引と法(07) 資源人類学(07) 国際共生と健康(08) 文献学(08) 哲学入門(04) 紛争の社会学(04) 書誌学(03)	コミュニケーション論序説(07) 生物集団と地球環境(07) 国際共生に向けた健康への挑戦(08) 技術者倫理(04) 国際共生と健康(04) 人工物と設計(04)
4		国際経営論(05) 生物学の歴史(05) 日本の食文化(04) 生活の動態と経営(05) 進化する宇宙(05) 初歩からの物理学(08) マーケティング論(08) 基礎生物学(03) マーケティング論(04)	休	心理学史(05) 生徒指導(06) 現代コミュニティ論(06) 日本文学における住まい(04) 乳幼児・児童の心理臨床(07) 日本政治外交史(07) 経済学入門(08) 経済学入門(04)	住まいの構造・構法(04) 少子化時代の児童福祉(07) 社会と知的財産(08) 初歩からの数学(08) 問題解決の発想と表現(04) 複素数と関数(04)	認知心理学概論(06) 音楽理論の基礎(07) 特別支援教育基礎論(07) 現代行政分析(08) ジェンダーの社会学(08) 現代行政分析(04) ジェンダーの社会学(03)	休	ドイツ語入門Ⅱ(06) フランス語入門Ⅱ(06) ロシア語入門Ⅰ(05) 保健体育(05) 在宅看護論(04) 英語総合B(07) 日本語基礎B(07) 母語：外国語 日本語基礎B(07) 母語：問わず	英語中級B(06) 英語総合A(05) ドイツ語入門Ⅰ(06) フランス語基礎(06) 中国語入門Ⅰ(05) 韓国語入門Ⅱ(06) 英語講読(08) 英語Ⅱ(03)
5		人口減少社会の生活像(06) 暮らしの防犯と防災(06) 物質の科学・有機化学(07) 科学的な見方・考え方(06) 疾病の回復を促進する薬(07) 食品の安全性を考える(08) 日本の技術革新(08) 食品の安全性を考える(04) 情報産業論(04)	日	財政学(05) 日本の古典—散文編(06) 前近代の東南アジア(06) 芸術の理論と歴史(06) 政治学入門(07) 途上国の開発(07)	変化する地球環境(04) 実験科学とその方法(06) 物理の考え方(07) 仕事・所得と資産選択(08) 初歩からの化学(08) 生活の経済(04) 相対論(04)	現代思想の地平(05) 生涯学習と自己実現(06) 日本の古典—古代編(05) 自己を見つめる(02) 情報と社会(06) 日本のマスメディア(07) 地域教育の創造と展開(08) 家庭・学校と地域社会(04)	日	フランス語入門Ⅰ(06) 中国語入門Ⅱ(05) 韓国語入門Ⅰ(06) 日本語基礎A(06) 母語：外国語 日本語基礎A(06) 母語：問わず 基礎看護学(04) スペイン語入門Ⅱ(07) 英語の基本(08)	英語基礎A(05) ドイツ語基礎(06) ロシア語入門Ⅱ(05) 初歩のアラビア語(06) スペイン語入門Ⅰ(07) 中国語基礎(08) 中国語Ⅲ(04)
6		グローバル経営戦略(06) がんの健康科学(06) バイオテクノロジーと社会(05) 細胞生物学(07) 現代世界の結婚と家族(08) バイオサイエンスで豊かな暮らし(08) アジアの風土と服飾文化(04) 物質の科学・有機構造解析(03)		神経心理学(06) 市民生活の財産法(06) 第三世界の政治(05) 雇用・福祉・家族と法(07) 社会統計学(07) 博物館資料論(04)	線型代数入門(03) 基礎化学(06) 衣生活の科学(06) 管理会計(06) 宇宙からの情報(05) ◎日本語学概説(06) 経営学入門(07)	ヨーロッパ政治史(05) 進化と人間行動(07) 現代を生きる哲学(07) 中国社会の歴史的展開(07) 特別支援教育総論(07) 裁判の法と手続(08) 裁判の法と手続(04) 科学の哲学(04)		発達と教育の心理学的基盤(05) 子ども・青年の生活と発達(06) フィールド社会心理学(04) 演劇入門(06) 日本の中世(07) 文学の愉しみ(08) アメリカの歴史と文化(08) 欧米経済史(04) 宋子学と陽明学(04) アメリカの歴史(04)	宇宙とその歴史(04) 情報技術と社会(05) 量子力学(05) 住まい学入門(07) リハビリテーション(07) NPOマネジメント(07)
7		現代の生活問題(07) 物質循環と人間活動(07) 社会福祉における権利擁護(08) ビジネス・ファイナンス(08) 患者からみた医療(03) 経営工学総論(04)		統計学入門(04) 基礎発達心理学(06) 仏教の思想(05) ヨーロッパの歴史(05) 日本語表現法(07) ◎日本のマスメディア(07) 博物館経営・情報論(08) 博物館経営・情報論(04)	人体の構造と機能(05) 地域福祉論(06) 人間活動の環境影響(05) 学校教育論(08) 建築意匠論(04)	著作権法概論(06) 応用心理学(05) 博物館概論(07) 学校教育論(08) 比較政治—中南米(08) 近代詩歌の歴史(04) 教育の方法(04) 比較政治学(04)		生命と人生の倫理(05) 表象としての日本(04) 幼児の教育と保育(04) 自我の社会学(05) 日本の古典—江戸文学編(06) 消費者と証券投資(07) 日本の近世(07) 教育の社会学(08) 市民社会と法(08) 教育の社会文化史(04) 法の世界(04)	脳科学の進歩(06) 日本の製造業の新展開(05) 数理モデルとカオス(05) 生命と金属の世界(05) ◎疾病の成立と回復促進(05) 宇宙観の歴史と科学(08) 現代の会計(08) 宇宙像の変遷と科学(04) 会計学(04) 計算力学(04)
8		簿記入門(06) 光と電磁場(05) 物理の世界(07) 変動する社会と暮らし(07) 社会技術概論(07) 身近な統計(07) 技術革新を支える物質の科学(08) 都市と防災(08) 物質の科学と先端技術(04) 人間と自然(03)		社会調査(05) カウンセリング概説(05) 現代東アジアの政治(04) ◎21世紀の社会学(05) 市民と社会を考えるために(07) 労働経済(08) 現代日本社会における音楽(08) 経済法(04) 応用音楽学と民族音楽学(04)	疾病の成立と回復促進(05) 21世紀の女性と仕事(06) 惑星地球の進化(07) 初歩からの生物学(08) 若者の科学離れを考える(04) ネットワーク産業論(04)	21世紀の社会学(05) 日本政治思想史(05) 古代地中海世界の歴史(04) 20世紀の中国文学(05) 市民と社会を知るために(08) 心理臨床の基礎(08) 世界の産業再編成(04) 臨床心理学概説(03)		東アジアのなかの日本文化(05) 計量心理学(06) スクールカウンセリング(05) 中央アジアの歴史・社会・文化(04) 経済社会の考え方(07) 文化人類学(08) 社会階層と不平等(08) 文化人類学(04) ◎基礎生物学(03) 都市社会の人間関係(04)	公衆衛生(05) エネルギー工学と社会(06) 欧米の社会福祉(07) 問題発見と解決の技法(08) 使える教理リテラシー(03)

◎看護師資格取得に資する内容の別試験実施

例：人間と自然(03) ……平成19年度末での閉講科目です。再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

on air no.88

on air no.88

# 平成20年度第2学期 学部単位認定試験時間割 (予定)

※第2学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず平成20年度第2学期用の「授業科目案内」で確認してください。

時限	曜日	平成21年 1月25日(日)	1月26日(月)	平成21年 1月27日(火)	平成21年 1月28日(水)	平成21年 1月29日(木)	1月30日(金)	平成21年 1月31日(土)	平成21年 2月1日(日)
1 9:15~10:05		社会調査(05) カウンセリング概説(05) ◎21世紀の社会学(05) 市民と社会を考えるために(07) 現代東アジアの政治(04) 労働経済(08) 現代日本社会における音楽(08)		簿記入門(06) 光と電磁場(05) 物理の世界(07) 変動する社会と暮らし(07) 社会技術概論(07) 身近な統計(07) 技術革新を支える物質の科学(08) 都市と防災(08)	公衆衛生(05) エネルギー工学と社会(06) 欧米の社会福祉(07) 問題発見と解決の技法(08)	授業研究と談話分析(06) 基礎教育学(07) 企業の組織・取引と法(07) 資源人類学(07) 幸福の社会学(08) 文献学(08)		21世紀の社会学(05) 日本政治思想史(05) 古代地中海世界の歴史(04) 20世紀の中国文学(05) 市民と社会を知るために(08) 心理臨床の基礎(08)	疾病の成立と回復促進(05) 21世紀の女性と仕事(06) 惑星地球の進化(07) 初歩からの生物学(08)
2 10:25~11:15		日本国憲法(05) 日本の古代(05) 転換期の教師(07) こころとからだ(07) 世界の名作を読む(07) 人文地理学(08)		確率・統計の基礎(05) 統計学とその応用(05) 動物の行動と生態(04) 分析によって知る世界(07) ◎公衆衛生(05) 企業戦略と企業文化(08)	ベンチャー企業論(05) 数学再入門(07) 自然と社会を貫く数学(07) 情報科学の基礎(07) 感染症と生体防御(08)	心理学史(05) 生徒指導(06) 現代コミュニティ論(06) 日本文学における住まい(04) 乳幼児・児童の心理臨床(07) 日本政治外交史(07) 経済学入門(08)		刑法(05) 芸術・文化・社会(06) 人類の歴史・地球の現在(07) 教育社会学(07) 現代日本の政治(07) 心理学研究法(08) 日本の思想(08)	看護学概説(05) イノベーション経営(05) 数学とコンピュータ(06) 高齢期を支える社会福祉システム(07) 熱と温度(08)
3 11:35~12:25		アーツ・マネジメント(06) 人格心理学(04) 日本心理学の歴史(05) 考古学と歴史(04) 歴史と人間(08)		国際経営論(05) 生物学の歴史(05) 日本の食文化(04) 生活の動態と経営(05) 進化する宇宙(05) 初歩からの物理学(08) マーケティング論(08)	生物界の変遷(06) エネルギー学の基礎(07) かしくなる患者学(07) 家族のストレスとサポート(08) コンピュータのしくみ(08) 数学基礎論(08)	財政学(05) 日本の古典—散文編(06) 前近代の東南アジア(06) 芸術の理論と歴史(06) 政治学入門(07) 途上国の開発(07)		日本語学概説(06) 発達障害児の心と行動(06) 近代の日本文学(05) 精神分析入門(07) 感情の心理学(07) 日本経済史(08) 記憶の心理学(08)	食と健康(06) 身体福祉論(07) 生活とリスク(07) 数理ファイナンス(08) 現代物理(08)
4 13:15~14:05		英語中級B(06) 英語総合A(05) ドイツ語入門Ⅰ(06) フランス語基礎(06) 中国語入門Ⅰ(05) 韓国語入門Ⅱ(06) 英語講義(08)	休	人口減少社会の生活像(06) 暮らしの防犯と防災(06) 物質の科学・有機化学(06) 科学的な見方・考え方(07) 疾病の回復を促進する薬(07) 食品の安全性を考える(08) 日本の技術革新(08)	コミュニケーション論序説(07) 生物集団と地球環境(07) 国際共生に向けた健康への挑戦(08)	発達と教育の心理学的基盤(05) 子ども・青年の生活と発達(06) フィールド社会心理学(04) 演劇入門(06) 日本の中世(07) 文学の愉しみ(08) アメリカの歴史と文化(08)	休	倫理思想の源流(05) 発達障害の教育支援法(06) 行政法と市民(06) 国際経済学(05) 近代ヨーロッパ史(05) 社会心理学の基礎と応用(08)	ドイツ語入門Ⅱ(06) フランス語入門Ⅱ(06) ロシア語入門Ⅰ(05) 保健体育(05) 在宅看護論(04) 英語総合B(07) 日本語基礎B(07) 母語：外国語 日本語基礎B(07) 母語：問わず
5 14:25~15:15		英語基礎A(05) ドイツ語基礎(06) ロシア語入門Ⅱ(05) 初歩のアラビア語(06) スペイン語入門Ⅰ(07) 中国語基礎(08)	日	服飾と心理(05) 企業統治と企業倫理(07) 社会福祉入門(08) 市民生活における社会保険(08)	住まいの構造・構法(04) 少子化時代の児童福祉(07) 社会と知的財産(08) 初歩からの数学(08)	生命と人生の倫理(05) 表象としての日本(04) 幼児の教育と保育(04) 自己の社会学(05) 日本の古典—江戸文学編(06) 消費者と証券投資(07) 日本の近世(07) 教育の社会史(08) 市民社会と法(08)	日	認知心理学概論(06) 音楽理論の基礎(07) 特別支援教育基礎論(07) 現代行政分析(08) ジェンダーの社会学(08)	フランス語入門Ⅰ(06) 中国語入門Ⅱ(05) 韓国語入門Ⅰ(06) 日本語基礎A(06) 母語：外国語 日本語基礎A(06) 母語：問わず 基礎看護学(04) スペイン語入門Ⅱ(07) 英語の基本(08)
6 15:35~16:25		心理学入門(06) 国際関係法(06) 西洋政治思想史(05) 近代日本と国際社会(04) 大学と社会(08)		アジアの社会福祉(06) アグリビジネスと農業・農村(06) 物質・材料工学と社会(05) 植物の生理(04) ◎心理学入門(06) 解析入門(08)	変化する地球環境(04) 実験科学とその方法(06) 物理の考え方(07) 仕事・所得と資産選択(08) 初歩からの化学(08)	東アジアのなかの日本文化(05) 計量心理学(06) スクールカウンセリング(05) 中央アジアの歴史・社会・文化(04) 経済社会の考え方(07) 文化人類学(08) 社会階層と不平等(08)		現代思想の地平(05) 生涯学習と自己実現(06) 日本の古典—古代編(05) 自己を見つめる(02) 情報と社会(06) 日本のマスメディア(07) 地域教育の創造と展開(08)	初歩からの微積分(06) 障害者福祉論(05) 運動と力(05) 分子生物学(05)
7 16:45~17:35		神経心理学(06) 市民生活の財産法(06) 第三世界の政治(05) 雇用・福祉・家族と法(07) 社会統計学(07)		グローバル経営戦略(06) がんの健康科学(06) バイオテクノロジーと社会(05) 細胞生物学(07) 現代世界の結婚と家族(08) バイオサイエンスで豊かな暮らし(08)	宇宙とその歴史(04) 情報技術と社会(05) 量子力学(05) 住まい学入門(07) リハビリテーション(07) NPOマネジメント(07)	道徳教育論(05) 西洋音楽の諸問題(05) 保育カウンセリング(08) 国文学入門(08) 認知科学の展開(08)		ヨーロッパ政治史(05) 進化と人間行動(07) 現代を生きる哲学(07) 中国社会の歴史的展開(07) 特別支援教育総論(07) 裁判の法と手続(08)	線型代数入門(03) 基礎化学(06) 衣生活の科学(06) 管理会計(06) 宇宙からの情報(05) ◎日本語学概説(06) 経営学入門(07)
8 17:55~18:45		統計学入門(04) 基礎発達心理学(06) 仏教の思想(05) ヨーロッパの歴史(05) 日本語表現法(07) ◎日本のマスメディア(07) 博物館経営・情報論(08)		現代の生活問題(07) 物質循環と人間活動(07) 社会福祉における権利擁護(08) ビジネス・ファイナンス(08)	脳科学の進歩(06) 日本の製造業の新展開(05) 数理モデルとカオス(05) 生命と金属の世界(05) ◎疾病の成立と回復促進(05) 宇宙観の歴史と科学(08) 現代の会計(08)	現代経済学(05) ギリシャ哲学(03) 現代の国際政治(08) 哲学への誘い(08)		著作権法概論(06) 応用心理学(05) 博物館概論(07) 学校教育論(08) 比較政治—中南米(08)	人体の構造と機能(05) 地域福祉論(06) 人間活動の環境影響(05) デザイン工学(08)

# 平成20年度大学院単位認定試験時間割 (予定)

## (第1学期)

曜日 時限	平成20年7月25日(金)	平成20年7月26日(土)
1 9:15 ↓ 10:05	EU論(06) 地方自治政策Ⅰ(05) 教育課程編成論(06) 認知行動科学(06) 法システムⅡ(07)	表象文化研究(06) 教育文化論(05) 臨床心理学特論(05) 大学のマネジメント(08)
2 10:25 ↓ 11:15	情報化社会研究(05) 経済政策Ⅱ(05) 認知過程研究(07) 物質環境科学Ⅱ(08) 物質環境科学Ⅱ(03)	国際社会研究Ⅰ(05) 法システムⅢ(06) 学校臨床社会学(07) 臨床心理面接特論(07) 生命環境科学Ⅱ(08) 生命環境科学Ⅱ(06)
3 11:35 ↓ 12:25	生活科学Ⅰ(05) 教授・学習過程論(06) 国際社会研究Ⅱ(07) 環境工学(07) 社会的自我論(08) 地方自治政策Ⅱ(04)	地域文化研究Ⅰ(06) 技術社会関係論(04) 臨床心理学研究法特論(06) 市民性形成論(07)
4 13:15 ↓ 14:05	言語文化研究Ⅲ(05) 数理システム科学(05) 臨床心理地域援助特論(07) 世界の芸術文化政策(08) 芸術文化政策Ⅰ(02)	地域文化研究Ⅱ(06) 生活科学Ⅱ(06) 環境マネジメント(06) 発達心理学特論(07)
5 14:25 ↓ 15:15	生命環境科学Ⅰ(05) 都市デザイン論(06) 学校臨床心理学(05) 地域文化研究Ⅲ(07)	総合情報学(06) 情報システム科学(06) 生涯学習論(06) 文化政策の展開(07)
6 15:35 ↓ 16:25	比較文化研究(05) 健康科学(05) 経営システムⅠ(06) 社会心理学特論(05)	総合人間学(06) 福祉政策Ⅰ(06) 人間情報科学とeラーニング(06) 複雑システム科学(07)
7 16:45 ↓ 17:35	日本文化研究(05) 経営システムⅡ(05) 家族心理学特論(06) 教育経営論(08) 教育経営論(04)	物質環境科学Ⅰ(05) 福祉政策Ⅱ(06) 才能教育論(06) 言語文化研究Ⅰ(07)
8 17:55 ↓ 18:45	言語文化研究Ⅱ(05) 経済政策Ⅰ(05) 精神医学(06) 学校システム論(07)	文化人類学研究(05) 地球環境科学(05) 法システムⅠ(06) 逸脱行動論(06) 国際政治(07)

## (第2学期)

※第2学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず平成20年度第2学期用の「授業科目案内」で確認してください。

曜日 時限	平成21年1月23日(金)	平成21年1月24日(土)
1 9:15 ↓ 10:05	文化人類学研究(05) 地球環境科学(05) 法システムⅠ(06) 逸脱行動論(06) 国際政治(07)	言語文化研究Ⅱ(05) 経済政策Ⅰ(05) 精神医学(06) 学校システム論(07)
2 10:25 ↓ 11:15	表象文化研究(06) 教育文化論(05) 臨床心理学特論(05) 大学のマネジメント(08)	EU論(06) 地方自治政策Ⅰ(05) 教育課程編成論(06) 認知行動科学(06) 法システムⅡ(07)
3 11:35 ↓ 12:25	国際社会研究Ⅰ(05) 法システムⅢ(06) 学校臨床社会学(07) 臨床心理面接特論(07) 生命環境科学Ⅱ(08)	情報化社会研究(05) 経済政策Ⅱ(05) 認知過程研究(07) 物質環境科学Ⅱ(08)
4 13:15 ↓ 14:05	地域文化研究Ⅰ(06) 技術社会関係論(04) 臨床心理学研究法特論(06) 市民性形成論(07)	生活科学Ⅰ(05) 教授・学習過程論(06) 国際社会研究Ⅱ(07) 環境工学(07) 社会的自我論(08)
5 14:25 ↓ 15:15	地域文化研究Ⅱ(06) 生活科学Ⅱ(06) 環境マネジメント(06) 発達心理学特論(07)	言語文化研究Ⅲ(05) 数理システム科学(05) 臨床心理地域援助特論(07) 世界の芸術文化政策(08)
6 15:35 ↓ 16:25	総合情報学(06) 情報システム科学(06) 生涯学習論(06) 文化政策の展開(07)	生命環境科学Ⅰ(05) 都市デザイン論(06) 学校臨床心理学(05) 地域文化研究Ⅲ(07)
7 16:45 ↓ 17:35	総合人間学(06) 福祉政策Ⅰ(06) 人間情報科学とeラーニング(06) 複雑システム科学(07)	比較文化研究(05) 健康科学(05) 経営システムⅠ(06) 社会心理学特論(05)
8 17:55 ↓ 18:45	物質環境科学Ⅰ(05) 福祉政策Ⅱ(06) 才能教育論(06) 言語文化研究Ⅰ(07)	日本文化研究(05) 経営システムⅡ(05) 家族心理学特論(06) 教育経営論(08)

例：教育経営論(04) .....平成19年度末での閉講科目です。再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

# 放送大学エキスパートがさらに充実します。



## ●すべてのプランで認証状を発行

前号に引き続き、放送大学エキスパートの紹介をします。平成19年度第1学期の成績発表後にも多くの申請をいただき、9月は353人もの方に認証状を交付しました。今年度から実施している6プランについても、既に取得者があった3プランに続き、「宇宙・地球科学プラン」「異文化コミュニケーションプラン」「福祉コーディネータプラン」でも第1号を交付しましたので、これで全てのプランで認証状取得者が出たこととなります。

「心理学基礎プラン」は、今年度からの実施にも関わらず既に62名の方が認証状を取得されており、関心の高さを示しています。

## ●平成20年度から22プランに充実

放送大学エキスパートでは、平成20年度から、また新たなプランを実施します。現在実施している16プランに、「食と健康アドバイザープラン」「ものづくりMOTプラン」「コミュニティ学習支援プラン」「アジア探究プラン」「日本の社会・文化探究プラン」及び「自然系博物館プラン」の6プランを新たに加え、全22プランとなります。新しい6プランについては、ON AIRの次号にて詳しく紹介します。

各プランの詳細は、12月から配布する「科目群履

プラン別認証状取得者の内訳

平成19年9月現在

プラン名	認証状取得者
1 社会探究プラン	25
2 市民活動支援プラン	53
3 実践経営学プラン(*)	21
4 宇宙・地球科学プラン(*)	1
5 生命科学プラン	71
6 環境科学プラン	20
7 社会数学プラン	9
8 心理学基礎プラン(*)	62
9 エネルギー・環境研究プラン	16
10 異文化コミュニケーションプラン(*)	2
11 次世代育成支援プラン	92
12 健康福祉指導プラン	304
13 福祉コーディネータプラン(*)	29
14 社会生活企画プラン	62
15 芸術系博物館プラン(*)	20
16 歴史系博物館プラン	101
合計	888

(\*)のプランは平成19年度から実施、その他のプランは平成18年度から実施

修認証制度（放送大学エキスパート）について（平成20年度）パンフレット」（学生募集要項、科目登録申請要項、継続入学用書類等に同封予定。また学習センターにも配架します。）をご覧ください。

●なお、授業科目群は毎年度見直しますので、現在実施している16プランについても、平成20年度には授業科目群の構成が変更になる場合があります。

## エキスパートにチャレンジする学生から ②

田尾信弘さん（〈人間の探究〉全科生）

今年10月に3年次編入しました。もちろん卒業を目指していますが、まずはエキスパートの資格、「異文化コミュニケーションプラン」を目指そうと思っています。そのため新学期は「中国語入門Ⅰ」を履修します。昨年、地元の大学の公開講座で学んだので、放送大学の授業には何とかついていけると思っています。

田中茂さん（〈産業と技術〉全科生）

新学期は、「実践経営学プラン」取得を目指して、3科目の履修を目指したいと思います。エキスパートは、履修の意欲をもり立ててくれ、いい制度だと思います。新たなプランの導入も期待しています。

大森扶美子さん（選科履修生）

「宇宙・地球科学プラン」の取得を目指しています。私は学習塾で小・中学生に理科を教えています。生徒に「基礎が大事」と言っているものの、その基礎が何なのか、実はまだよくわかっていないわけです。今年新たに「基礎科目」が始まり、「エネルギー学の基礎」「科学的な見方・考え方」「物質循環と人間活動」「物理の考え方」を受講。この科目が入っているのが「宇宙・地球科学プラン」だったんですね。単に宇宙についてぼんやり考えるだけではなく、そこに物理や数学、生物、化学など確かな「基礎」があることをこのプランを通じて実感しています。既に大学を卒業した私にとって、あるテーマに絞ってもう一度「基礎」を学び直すのに、学びの最高のモチベーションになっています。

エキスパートについてのお問い合わせは、各学習センター、または本部教務部企画課までどうぞ。



## 宇宙・地球科学プラン

「自然の理解」専攻 准教授 吉岡 一男

皆さんの中には、夜空の星々の美しさに心惹かれる方も多いでしょう。また、台風や地震などに強い恐怖感を抱いている方も多いと思います。このプランでは、私たちを取りまく宇宙や地球の自然現象がどのように観察され、研究されているかを学びます。そしてその成果として、自然現象がどのようなメカニズムで起きており、現象同士がどのようなつながりを持っているかを学びます。その結果、夜空の美しさや自然災害の恐ろしさだけではなく、これらの現象をより広い視野から客観的に見ることができるようになるでしょう。

これらの現象の本質的な理解のためには、物理学や数学などの基礎的知識が必要です。このプランに含まれる基礎科目からそれらの知識を得ることができます。

このプランにより宇宙や地球の知識を得るだけでなく、宇宙や地球のようなさまざまな要素が組み合わされたシステムを全体として理解する方法も身につきます。それは、他のシステムの理解にも役立つことでしょう。



## 環境科学プラン

「自然の理解」専攻 教授 濱田 嘉昭

「環境問題は人類の生存にかかわる最大の問題だ！」というの、おそらく間違っていないでしょう。しかし、この問題はあまりにも大きく、個人のレベルを超えていて、実際には何もできず、「科学・技術者、政府に任せるしかない！」ので、個人としては「反環境的」と思いつつ、あくまで自分の快適な生活を追求し、経済的な富の獲得に最大限の努力をする。それも適わないと思っている人は、心の闇の中に沈潜する。現在の状況を単純に（皮相的に？）掴むと以上のようになりはしないでしょうか。

日常生活で「環境問題」が伝えられるルートの多くは、マスコミの情報、そしていくつかの科学雑誌などでしょう。そして、私達は「科学的」という言葉に弱く、簡単に信じてしまうという傾向があります。ちょっと過去を振り返っても、「異常気象」、「地球寒冷化」などが“流行（はやり）言葉”だったことを思い出しましょう。

そこで、間違いのない基礎的な知識を提供してくれるのが放送大学の科目群です。「環境科学プラン」にある科目群は、「環境」に関する情報を正しく評価し、個人や社会が進むべき道筋を照らす助けになることでしょう。



## 生命科学プラン

「自然の理解」専攻 教授 松本 忠夫

現代生活では、最先端の自然科学を利用した技術が発展しています。その結果として、医療、農業、生物工業などでも、ちょっと前には考えられなかったほどの飛躍的な発展がなされつつあります。一方では、それらの発展とともに、様々な厳しい倫理的問題も生まれてきています。そのような現代生活の中では、健康維持、食の安全、精神のやすらぎなどを求めて、科学的に自分自身の判断を行っていく必要性があります。しかし、現代の生命科学は極めて複雑かつ精緻になっていて、生半可な勉強ではとても分かるようなものではありません。

本プランでは、現代の生命科学でも特に人間生活に関わる基本的な知識、そして生命科学の応用技術分野の進展に関する理解を深めていただくことを目的としています。なお、このプランは、あくまでも現代の生命科学の基礎的知識の習得に対するものです。増々進展する生命科学のさらなる学習のための出発点であることを認識していただけたらと思います。



## エネルギー・環境研究プラン

「社会と経済」専攻 教授 高橋 和夫

学問の垣根を飛び越える。これが放送大学の得意技です。その得意技を存分に発揮したのが「エネルギー・環境研究プラン」です。人文系、社会系、技術系、自然系と超がつく一流の教員を集めた大学にだけ可能なプログラム構成です。現代社会が直面する諸問題は、一つの学問の枠の中にとどまってはくれません。エネルギーと環境の問題もそうです。両者は密接に関連し合いながら、経済、社会、産業、政治など人類の活動の広い部分に渡って強い影響を与えています。そこで、このプランでは、人文系、社会系、技術系、自然系の多方面から光を当ててエネルギーと環境の問題を立体的に把握する力を養います。社会科学系からは「国際政治」、自然系からは「物質の科学と先端技術」そして基幹科目として「世界の産業再編成」などがお勧めメニューです。問題の多面的な理解を可能にしてくれるでしょう。



## CS放送の視聴者と日本社会の変化を研究

東京経済大学博士課程在学  
放送大学修士課程修了

風間 道夫さん インタビュアー 柏倉 康夫 教授



風間 道夫さん



柏倉 康夫 教授

柏倉 風間さんは、修士論文の研究テーマをどのような関心から選んだのですか。

風間 私は昭和48年に大学を出て、新聞社の広告部門で仕事を始め、いままスコミの広告に関わる仕事を続けています。この30年以上の間、いわゆるマスコミ4媒体、つまり新聞、雑誌、テレビ、ラジオの中で、テレビ広告費の伸びが著しいのはご存知の通りです。ですが、ここへきてテレビの多チャンネル化や、インターネットの急速な広がり、さらに携帯電話を利用したさまざまなサービスが普及してきました。こうしたメディアの状況をみますと、私たちの情報行動、メディア接触の様子は大きく変化してきています。

また日常生活で外食をする機会も増えていて、レストランなどで働く外国人を多く見かけるようになりました。これなどもメディアの変化とともに、日本の社会が構造的に変化している現われなのではないかと考えるようになりました。

自分がメディア業界で働いているというだけでなく、若いころから新しいメディアに興味があったものですから、通信衛星放送・CSテレビという新しいメディアに、こうした社会の変貌が映っているのではないかと考えて、「CSテレビを通して見る日本社会の多様性」というテーマを選んだのです。

柏倉 風間さんは、私のゼミで修士論文を書かれたのですが、入試の面接のときに、いまいわれた問題関心を披露されたのを覚えています。地上波のテレビや衛星放送ではなく、CSを取り上げるというのが新鮮でした。これまでCS放送のまとまった論考が少なかったからです。しかも現状とともに、そこに日本社会の変化を読み取ろうという視点が興味深かった。ところでこの点を論文にしようとすると、フィールドワークが必要でしたね。

風間 目に見える日本社会の変化としては、先ほども申した外国人労働者の増加があります。出入国管理白書といった官庁のデータでもはっきりしていますが、やはり日本社会で働き、暮らしている外国人労働者の姿を実際に見てみよう、話も聞いてみたいと考えたのです。静岡県浜松市、横浜市鶴見区、群馬県大泉町といった、日系ブラジル人が多く住む町へ出かけて行きました。なぜ日系ブラジル人を選んだか。それは日本社会に入ってきた外国人労働者として歴史が浅いため、日系ブラジル人自身に、また受け入れている地域住民や自治体の話から、変化がはっきり見えるのではないかと考えたからです。

日系ブラジル人向けのポルトガル語メディアで働いている日系ブラジル人、地元自治体の職員、NPO法人を立ち上げ外国人労働者のための日本語教室を運営している人、日本人と結婚しているブラジル人女性など、なまの話を

たくさん聞くことができました。また日系ブラジル人のためのスーパーマーケット、レストランなどで生活の様子を見ることができたのも収穫でした。

現在在日ブラジル人向けのポルトガル語の放送が、CSテレビチャンネルに2つあります。それだけ需要が多いということです。このほかにも、ターゲットを絞りやすいCS放送には、韓国語放送、中国語放送など、外国語で放送するチャンネルが多くあります。

柏倉 CS放送の視聴者から、日本社会のどんな変化が見えましたか。

風間 CSテレビには、外国語放送チャンネル以外にも、多くの各種チャンネルがあります。スポーツ、音楽、映画、ニュース・情報、各種エンタテインメントなどがあり、さらにそれぞれが多岐にわたっています。視聴者の情報環境として多チャンネル化しているのです。しかし、それは必ずしも視聴者のチャンネル・レパートリーが増えていくわけではありません。多チャンネルを楽しむというより、自分の趣味・嗜好、生活観に近いもの、それに結びつきやすい番組・チャンネルを選んで視聴契約をしていると見られます。

CSテレビは視聴者から常に選ばれるメディアであり、年間に幾つものチャンネル運営者が入れ替わっています。情報メディアは受け手との相互作用で成り立つもので、視聴者の価値観・ライフスタイルが個々のチャンネルに投影されていると考えられます。

大手広告会社の生活者意識調査によれば、「人と違うように行動する」という人が、少しずつですが増えているのです。こうした行動意識の変化をCSテレビの外国語を含む多種多様なチャンネルと重ねあわせてみますと、日本社会は多様化の方向に進んでいると考えてよいと思います。これが私の修士論文の結論でした。

柏倉 風間さんは、修士を終えて、通学制の大学の博士課程に進まれましたが、それはどんな動機からでしょうか。また今後の研究テーマはどのようなものですか。

風間 修士論文を書きながら、テレビという強力なメディアにも、大きな変化が起こりつつあると思い始めたのです。地上波やBSはこれまで通り基幹メディアであり続けるでしょうが、CS（通信衛星）、インターネット、光ファイバーなどによる動画（テレビ）サービスは、専門店的な、視聴者を絞り込んだメディアとして確実に成立して行くだろうと考えます。1990年代から始まったといわれるテレビメディアの社会的な位置づけの変化を捉えたいと思っています。

柏倉 ありがとうございました。博士課程でもぜひ研究を続けられ、よい博士論文をお書きください。期待しています。

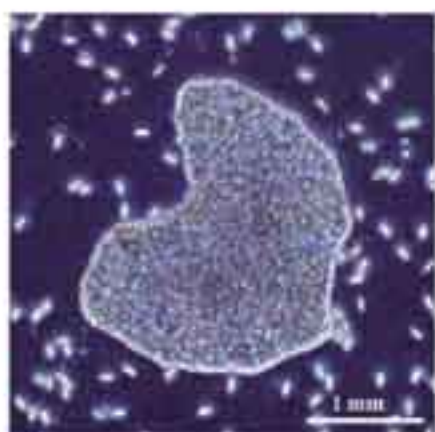




## 最も単純?な多細胞動物

この欄は、研究室において学生・院生諸君とともにある姿を示すのを常としているが、筆者の研究室は始まって日も浅く、そのような機会にもほとんど恵まれていないので、ここでは筆者が飼育している世にも不思議な動物、センモウヒラムシを紹介しよう。生物科学の進展は著しく、日々膨大な知見が集積しているこの時代ではあるが、生物に関するわれわれの知識は依然として極めて限られたものに過ぎない。地球の質量が大人一人ほどのものとする、この惑星に存在するバイオマスの総量はまつ毛一本にも満たないが、そのまつ毛一本のなかには数千万から数億、あるいはそれ

以上の数の「種」が現存すると推定されている。しかし、学名が付けられ、生物として存在が認知されているものは総計170万種程度に過ぎない。多く見積もっても、現存す



小さな白い点は繊毛としていたる微小藻類

「自然の理解」専攻・総合文化プログラム 環境システム科学群 教授 星 元紀

る「種」の数%しか認知できていないことになる。ましてある程度研究が進んでいる種にいたっては<sup>何十億倍</sup>たまるものに過ぎない。

わがセンモウヒラムシは成体でも1mm程度の小さな平たいムシで、一見巨大なアメーバ（単細胞動物）のように見えるが、約3千（成人は約60兆）の細胞からなるれっきとした多細胞動物である。各地の暖かな海で自由生活を営み、餌を食べてはいるが口もなければ消化管もない。遺伝子解析が進んでいながら、その生活がどうなっているのか皆目分らないのである（生物学はこの逆に進むのが常）。1883年にオーストリアのグラーツで水槽の壁を這っているところを発見されたこの小さな動物が、多細胞体制の起源を語ってくれるのではないかと期待して、飽かず眺めている今日この頃である。



## 研究室紹介

放送大学のなかでは、哲学分野を担当している専任の教員は、私だけである。私自身の専門は、カントやヘーゲルの哲学といった西洋近代の古典の研究であるが、しかし放送大学では、学生、大学院生諸氏の関心対象に応じて、古今東西の哲学、思想に対応しなければならない。それだけではない、ご自分の現実の問題に即して、余り学問的とは言えないながらも、熱い思いで人生論や、社会への憤慨をぶちまけることを研究主題とされる方もいらっしゃる。当然、私だけでは無理なので、客員の先生の手も借りるといふことにもなるが、それでも立場上、皆さんとお付き合いすることになる。その私の二年に満たない経験から語らせていただくと、皆さん、実に多様な関心と期待を哲学に対して持たれているという印象である。

### ●学生からのコメント●

大学院佐藤ゼミに参加して驚いたことは、研究生のテーマが実に多様なことだった。実存主義、デンマークの国民的教育家、ホスピスで人々と向き合い

「人間の探究」専攻・総合文化プログラム 文化情報科学群 教授 佐藤 康邦



ながらハイデガーを研究する方、あるいは初期マルクスの前史に関わる研究等々。ゼミでは多彩な顔ぶれの院生たちが、その研究発表を行い、佐藤先生のアドバイスがある。回を重ねるうちに、一見異なる分野の研究に共通する中味を発見したりして、お互いに影響を受けたりする。このことも新しい驚きだった。そしてゼミ後の「飲み会」。佐藤先生を囲み様々のことが話題となり、ワインが空けられていく。院生の中には私も含め年配者も多く、それぞれが人生のテーマを語り合う。このひと時の団欒も、また「現代を生きる哲学」の実践となっている。（堀田）

# 快適な学びの場を提供する奈良学習センター

奈良学習センターは、昨年3月、近鉄奈良駅から徒歩約7分のところにある奈良女子大学コラボレーションセンター3階に移転してまいりました。近くにはお水取り（修二会）で知られる東大寺二月堂や奈良公園等があり、環境に恵まれた、交通の便の良い快適な学びの場です。屋上に上がると、東には東大寺大仏殿の蜃（いらか）、その頂には黄金色の鴟尾（しび）が光輝き、西には生駒山が望めます。3年後の2010年は平城遷都1300年にあたり、いろいろな催しが計画されていて、いにしへの古都奈良を肌で感じていただけることでしょう。

職員は、半数が今年になって代わりましたが、その新しい感性とこれまで培ってきた知識や経験を融合させ、学生の皆様との“ふれあい”を大切にしつつ、いつも笑顔で対応できるように心がけています。



（後方に東大寺大仏殿を望む）

奈良学習センター職員

## 客員教員によるゼミナール

奈良学習センターでは、8名の客員教員が、学生の学習相談や卒業研究に関する相談など、直接学生に接して指導をしています。また、客員教員には面接授業を担当していただくほか、専門分野のゼミナールを毎月開催し、日頃、教員に接するチャンスの少ない放送大学の学生には大変好評です。本年度の客員教員の専門分野とゼミナールのテーマを1例ずつご紹介します。「フランス文学：ヨーロッパの詩に季節を読む」、「工芸：古今東西やきもの見聞録—茶のうつわ・安南茶碗—」、「保健管理学：救急救命処置について」、「物理学：電子レベルから見た物の

性質」、「日本文学：正倉院文書を読む」、「発達教育学：現代日本の子ども・若者文化」、「中国文学：漢訳仏典を読む」、「消費経済学：消費現象と経済学」等です。8月には、松尾欣枝先生の「電子レベルから見た物の性質」のゼミナールの一環として、兵庫県佐用郡佐用町にある大型放射光施設「スプリング8」の施設見学に行きました。初めて見る壮大な研究施設に皆大いに感激しました。



松尾先生ゼミナール 大型放射光施設 SPring-8

## サークル紹介

当学習センターには、歩こう会、自然に親しむサークル、テニス同好会、奈良歴史クラブ、パソコン同好会、放送大学卓球部、木曜サロン、食と健康同好会、英語に親しむ会の9サークルがあります。各サークルとも月に1・2回活発に活動され、啓発しあい、親睦を深めています。会員は、年齢層が広く、多職種にまたがることからいろんな見聞を深めることができ、正課で得られない知識を得るとともに学習を継続するための助言を得ることのできる環境にあり、各サークルに加入されることをお勧めします。一方、サークル活動は、学生間に留まらず、地域住民との交流の中で「放送大学」の内容等を宣伝していただき、入学への勧誘を積極的に行っていただいていることに大いに感謝しています。

### 奈良学習センター

奈良市北魚屋東町（奈良女子大学コラボレーションセンター3F）〒630-8589  
〈近鉄奈良駅から徒歩7分〉 電話：0742-20-7870

# 学ぶ喜びを! 岩手学習センター

岩手学習センターは、秀峰岩手山を望み、間近に北上川の清流が流れる豊かな自然環境に恵まれた岩手大学キャンパス内にあり、岩手大学正門を入るとほぼ右正面に見えます。写真でもわかるように、桜の老木を避けるように設計されていて、樹木の多い広々としたキャンパスと静穏な環境が保たれるように配慮された自慢の建物に入居しています。



当学習センターは、平成5年に、詩人宮澤賢治が学んだ旧盛岡高等農林学校（現岩手大学農学部）の図書館だった建物を借用して発足したことから、「賢治が学んだキャンパスで、あなたも学ぶ喜びを!」をキャッチフレーズの一つに掲げ、賢治による造語であり、岩手の地をエスペラント語風に美しく名詞化した「イーハトーブ」を当学習センター機関誌の名称としています。



職員一同

客員教員

## 岩手の地の利を生かした面接授業

野外学習を取り入れた面接授業は、総じて学生さんには好評なようです。そんなわけで、19年度は、岩手の「海」、「温泉」、「氷」をテーマに、それぞれ

1泊2日の面接授業を計画してみました。1学期に実施済みの「魚類の回遊と資源変動」の授業では、調査船による海洋調査の体験実習もあり、船酔いに耐えながらの時間帯もあったようですが、とても好評でした。他の「観光と温泉」と「カーリングの理論と実践」の授業は2学期に行われますが、今から楽しみに待ち望んでいる学生さんが多いのに気を良くして、私もオブザーバーで参加してみたいと思っています。学生さんにどう評価して貰えるかにもよりますが20年度も工夫を凝らした面接授業を立案してみたいと思っていますので、乞うご期待です。

## 活発な学友会とサークルの活動

学友会のもとに7つのサークルがあり、学生相互の楽しい触れ合いの場となっています。中には、タオル一本で自然、文化、ロマン、人間味を学べる「秘湯研究会」といったとてもユニークなサークルもあり、これまで秘湯と称する約45カ所の温泉地を探訪し終えているようで入浴効果も抜群とか。他に、



「お花の会」では、当学習センター内にほぼ年間を通じて作品を披露下さり、環境美化に心が癒されています。もう一つ「短歌同好会」ですが、数多い優れた作品の中から、身につまされる一首 “ワイシャツの サイズ小さく なりし夫 この極月に停年となる 富士代”。スタッフ一同、今後ともサークルを応援してまいります。『どんと晴れ』の岩手からでした。

### 岩手学習センター

盛岡市上田3-18-8 (岩手大学構内) 〒020-8550  
 (JR上盛岡駅から徒歩15分) 電話: 019-653-7414

## よちよち歩きの同窓会

東京多摩学習センター同窓会会長 河合 清一さん

「え！ よちよち歩きの同窓会って何！」と首を傾げる方もあるかと思いますが、それもそのはず、わが東京多摩同窓会は2006年9月2日に誕生してから、まだ1年と3ヶ月しかたっていません。したがって、ヒトの発達段階からみてもまだ、母親の懷に抱かれている乳幼児のようなところですよ。今は、ようやくひとり歩きができるようになった状態です。

各学習センターの同窓会の設立には、それぞれの経緯や歴史が刻まれていて、その趣旨に添って各種の活動をされていることと思います。わが同窓会も諸先輩方の同窓会を見習い、模倣は学習の手本なりのごとく、これから走ったり、跳んだりと徐々に活動が活発になってゆくのではと、会員の皆さんと共に思いを馳せているところです。

それでは、わが同窓会会員の声を紹介しましょう。

### 『同窓会に参加して』

田澤由貴子

「放送大学＝家庭学習」という認識であったため、在学中は面接授業の時にだけ学習センターを利用していました（試験はランチ会場で受験）。視聴学習室、図書室等を利用することもなく、事務所の方とも学生証の発行でお世話になるだけでした。学習センター長の名前も知りませんでした。

それが同窓会に入会してからは、幅広い年代の人たちと言葉を交わし、懇親会や忘年会ではセンター所長を始め先生方、事務長、事務の皆さんとお酒を飲みながら懇談するようになりました。自分の世界がすごく広がったように感じます。初めての人も気軽に話せるのは、やはり同窓と言うつながりがあるからだと思います。



るからだと思います。在学中の皆さんも卒業証書を手にしたなら是非同窓会の門戸を叩いてください。

### 『講演会の開催』

福田 潔

これまで、東京多摩同窓会では計3回の講演会を開催しました。第2回の「姿勢と健康」では、講師の碓田拓磨先生が人間の頭の重さと同等なものとして、ボーリングのボール（重い！）を持参され熱心に解説してくださいました（写真）。また、姿勢のよくなる体操を教えてください、永年の肩こりがすっかり治ったという会員もいます。東京多摩同窓会では今後もユニークな講演会を機会あるごとに開催していきたいと考えています。



### 『同窓会の魅力とは？』

樋岡美紀子

同窓会のメンバーに、同窓会の魅力について聞いてみました。

「カフェテリアと一緒に行く仲間ができました。」  
（鬼塚さん）

「病気療養後、久しぶりに出席した同窓会が、こんなに楽しく輝いているとは...」  
（谷口さん）

「卒業式後の懇親会で、同窓会の話をしてからは、目の前が明るくなるような出会いが始まり、多摩学習センターにはこのような素敵な人々が集っていたのだと知りました。」  
（同窓会報の投稿から）

東京多摩の同窓会は和気あいあい、いろいろな個性の人が集まっています。楽しい仲間が卒業後のあなたをお待ちしています！

## (財)北野生涯教育振興会 北野重子理事長に 本学園御手洗理事長から感謝状を贈呈

(財)北野生涯教育振興会では、平成9年度から放送大学教養学部選科履修生、さらに平成14年度から大学院修士全科生の学生に対する奨学援助事業により、平成19年度までの11年間で175名(教養学部選科履修生157名、大学院全科生18名)の本学学生の修学支援にご尽力いただいております。

これに感謝し、放送大学学園では8月30日に北野生涯教育振興会において本学園の御手洗理事長より北野重子理事長に感謝状を授与いたしました。

### 「北野生涯教育振興会奨学金制度」について

(財)北野生涯教育振興会では、放送大学において学部選科履修生及び修士全科生として在学する学生で、生涯学習という観点に立ち、新たに知識を吸収しようとする学習意欲のある社会人を対象として、修学援助をしています。

\*対象となる学生、給付額、給付条件、申請手続き等については「学生生活の楽」をご覧ください。

### 「(財)北野生涯教育振興会」について

当財団は、スタンレー電気(株)の創業者北野隆

春氏の私財提供により、生涯教育の振興をはかる目的で1975年に発足。日本で初めて「生涯教育」という名を冠した財団で、奨学金など各種助成事業等を展開している。「奨学金制度」は社会人となってからも勉学を志す人々を応援したいと始められたもので、「いつでも、どこでも、だれでも」学べるチャンスを提供しており、事業内容の1つに「放送大学に対する奨学援助」を掲げています。



北野 重子 理事長

御手洗 理事長

## 大学の窓からのご案内

The Open University of Japan

「大学の窓」は放送大学の情報番組です。

- 放送時間：12:45～13:00  
19:45～20:00  
23:45～24:00(日・月のみ)

### 1月～3月の主な放送予定

月	主な放送予定
1月	○新春にあたって 石学長 ○スタジオ討論「オトナを考える」
2月	○冬の面接授業 ○学生紹介
3月	○退任を迎える教員からのメッセージ ○学位記授与式

特別番組 再放送  
のご案内

## 「大学を取り巻く諸問題」

— どう解決すべきか —

変革期を迎え様々な問題を抱えている日本の「大学」。生き残りをかけた「大学」の教育姿勢、また将来に向けた展望を石弘光放送大学長

と東京大学小宮山宏総長が話し合います。



東京大学 小宮山 宏 総長

放送大学 石 弘光 学長

放送日	放送時間
1月 1日(火)	16:00～16:45
3月 8日(土)	12:00～12:45
3月16日(日)	17:30～18:15
3月24日(月)	20:45～21:30

## お知らせ

放送大学では、平成19年度2学期(平成19年10月1日)より英語表記を「The University of the Air」から「The Open University of Japan」に変更いたしました。今後、英文による学生用各種証明書等について、必要に応じて順次変更してまいります。

新しい表記

**The Open University of Japan**

(旧名称) The University of the Air

学生募集—教養学部学生及び大学院修士選科生・修士科目生

学生サービス課

平成20年度第1学期の学生募集を以下のとおり行います。  
 平成19年11月15日(木)…平成20年度第1学期学生募集要項配布開始  
 出願期間……平成19年12月15日(土)～平成20年2月29日(金)  
 合否通知等……平成20年2月上旬～平成20年3月上旬  
 学費の納入……平成20年2月上旬～平成20年3月末  
 入学許可通知・印刷教材等の配送……平成20年2月上旬～平成20年3月末  
 授業開始……平成20年4月1日(火)

- ・放送大学に関心があるご友人、ご親戚他お知り合いの方にも、この機会にぜひ本学についてご紹介くださり、入学をお勧めいただくようお願い申し上げます。  
 また、平成20年3月末をもって学籍が切れる学生の方で、平成20年度第1学期以降も引続き学習を希望される場合は、改めて入学手続きが必要となりますが、入学科が割引になります。
- ・出願締切日は平成20年2月29日(金)〈必着〉です。

第2学期面接授業(集中型)の追加科目登録

教務課

2月に行われる第2学期面接授業(集中型)について、空席がある科目は追加科目登録をすることができます。登録日程等下記をご確認いただき、どうぞこの機会に面接授業にご参加ください。

空席状況(追加登録の対象科目)は、発表日以降各学習センターの掲示・キャンパスネットワークホームページ(<http://www.campus.u-air.ac.jp/u-air/>)でお知らせします。受講したい科目をご確認の上、登録受付期間内に、当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースの窓口にご越してください。  
 ※登録の際は必ず、学生証(コピーは不可)・授業料をご持参ください。  
 ※登録受付の方法等詳しくは、当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースへお問い合わせください。

空席発表日：平成19年12月22日(土)  
 登録受付期間：平成20年1月11日(金)～1月15日(火)  
 空席のある全てのクラスが登録受付対象となります。

単位認定試験における解答形式について

修学支援課

平成19年度第2学期から、単位認定試験の解答形式については、印刷教材等の持込みが認められる科目と同様に試験の約1ヶ月前か

ら各学習センターにて掲示し、キャンパス・ネットワーク・ホームページにも掲載しますので、単位認定試験に向けてご活用ください。

平成19年度放送大学学位記授与式について

教務課

平成19年度学位記授与式の日程が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

なお、宿泊についてはJTB団体旅行千葉支店でも取り扱っています。詳細は、JTB団体旅行千葉支店のホームページの「放送大学学位記授与式」の項目をご覧ください。

日時：平成20年3月16日(日)午前11時00分から  
 場所：NHKホール(東京都渋谷区神南2-2-1)

<http://www.jtb.co.jp/shop/danchiba/>

編集後記

日本の四季とそれを愛でる文化は素晴らしいと思います。最近では温暖化の影響等で予想外の暑さ、寒さに悩まされることもあります。季節が巡ってくるのは楽しみです。食べ物、服装はもとより挨拶の仕方や愛唱歌も気候に合わせる国は世界中でも数多くないと思います。

前号(87号)からON AIRの表紙に季節感が出されていることにお気づきでしたか? 仕事も家庭も益々忙しい現代生活の中で、放送大学がさまざまな立場の方の学力向上に資すると同時に、新しい時代を拓く感性や文化力の醸成に役立てたら幸いです。ON AIRのサポートもよろしく御願います。(松村 祥子)

放送大学通信 オン・エア 編集委員(平成19年度)  
 委員長 教授 柏倉 康夫  
 副委員長 教授 滝口 俊子  
 委員 教授 松村 祥子  
           教授 星 元紀  
           准教授 坂井 素思  
           准教授 齋藤 正章  
           准教授 島内 裕子  
 編集事務担当 教務部学生サービス課

 **放送大学**  
<http://www.u-air.ac.jp/> ISSN 1343-3369

ご感想やご意見をお聞かせください。メールアドレス [editor@u-air.ac.jp](mailto:editor@u-air.ac.jp)